

# 単元指導計画表～振り返り編～

中学校第1学年

資料の分析と活用 【新編 新しい数学1 p.206～225 (東京書籍)】

全10時間

## 数学的な見方・考え方

見方・・・～に着目する  
 考え方・・・～を論理的に考える ～を筋道立てて考える  
 ～を基に考える ～と関連付けて考える  
 ～と結び付けて考える ～の条件を変えて考える  
 ～の適用範囲を広げて考える

## 振り返りの視点



ア) 何が分かったか、何ができるようになったかについて  
 イ) 何に着目したか、どのように考えたかについて  
 ウ) 次の学習の見通しを持ったり、生活とのつながりを考えたりしたかについて

次	時	教科書のページ 本時のねらい	中心となる 数学的な見方・考え方  ※本来は一体として捉えるものですが、見やすさを考慮し、分けて記載しています。	視点 振り返りの	具体的な言葉掛け例 →期待される生徒の反応例	方法 振り返りの
1	1	p.206～207 資料を柱状グラフ(ヒストグラム)で表すと、分布の様子が捉えやすくなることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つのルートの平均値に着目する。</li> <li>柱状グラフ(ヒストグラム)の形に着目する。</li> <li>分布の様子を、柱状グラフ(ヒストグラム)の形を基に考える。</li> </ul>	ア, イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を柱状グラフで表すよさとは何でしょうか。</li> <li>→分布の様子が捉えやすくなる。</li> </ul>	口頭でのやり取り
	2	p.208～210 度数分布表やヒストグラムの必要性和意味を理解し、度数分布表やヒストグラムに表して、資料の傾向を読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムの形に着目する。</li> <li>2つのルートの特徴を、ヒストグラムの形を基に考える。</li> </ul>	ア, イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>度数分布表のよさとは何でしょうか。</li> <li>→ばらばらの資料をまとめると分布の様子が分かりやすくなる。</li> <li>ヒストグラムのよさとは何でしょうか。</li> <li>→度数分布表よりも、さらに分布の様子が分かりやすくなる。</li> </ul>	口頭でのやり取り
	3	p.211～212 相対度数の必要性和意味を理解し、相対度数を求めて、資料の傾向を読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較する資料の総数に着目する。</li> <li>2つのルートの特徴を、相対度数を基に考える。</li> </ul>	ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>相対度数はどのようにすれば求めることができますか。</li> <li>→(その階級の度数) ÷ (度数の合計)。</li> <li>相対度数はどんなときに求めるとよいのでしょうか。</li> <li>→比較したい資料の総数が異なるとき。</li> </ul>	口頭でのやり取り
				ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>相対度数について理解できたかAルートの晴れと曇りの日と、雨の日の所要時間についてペアで説明し合って確かめましょう。</li> </ul>	適用問題

	4	p.213~215 資料の範囲や代表値の必要性と意味を理解し、それらを求めて、資料の傾向を読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の範囲や、1つ1つの値に着目する。</li> <li>代表値を求めて、それぞれの特徴を関連付けて考える。</li> </ul>	ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央値、最頻値とは何ですか。 →中央値は資料の値を大きさの順に並べたときの真ん中の値。 最頻値は資料の中の最も多い値または度数分布表の最も多い階級の階級値。</li> </ul>	口頭でのやり取り
				ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表値の求め方が理解できたか教科書の問題で確かめましょう。</li> </ul>	適用問題
	5	p.215~216 資料の分布の様子や特徴をもとにして、資料の傾向を捉え、説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表値の特徴に着目する。</li> <li>2つのルートの中のどちらを選択するか、代表値を基に考える。</li> </ul>	イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均値が用いられないのはどのような資料の場合ですか。 →極端な値の影響を受けやすい資料。</li> </ul>	口頭でのやり取り
				ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表値を用いて説明できるか教科書の問題で確かめましょう。</li> </ul>	適用問題
	6	p.217 これまでの既習事項の定着を図るとともに、できたこと、つまずいたところを整理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の範囲や、1つ1つの値に着目する。</li> <li>度数分布表に整理したり、代表値を求めたりして、それぞれの特徴を関連付けて考える。</li> </ul>	ア	<p>【導入での言葉掛け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学習してきたことが身に付いたか問題で確かめましょう。</li> </ul>	小テスト
2	7	p.218~219 問題を解決するために、資料を収集して整理し、資料の傾向を捉え、説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の整理の仕方に着目する。</li> <li>資料を収集・整理して考える。</li> </ul>	ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集した資料をヒストグラムに表したり、代表値を求めたりすることができるか教科書の資料を基に確かめましょう。</li> </ul>	適用問題
	8	p.219 問題を解決するために、資料を収集して整理し、資料の傾向を捉え、説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒストグラムの形や代表値に着目する。</li> <li>どの代表値を用いるかなど、根拠を明らかにして論理的に考える。</li> </ul>	イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考になった友達の考えを書きましょう。 →資料の傾向をより細かく分析するために、代表値や範囲を組み合わせることを。</li> </ul>	学習感想
3	9	p.221~223 近似値と誤差の意味を理解し、真の値の範囲を求めることができる。有効数字の意味と近似値の表し方を理解し、表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>0と0.0など、値の表し方の違いに着目する。</li> <li>近似値や有効数字の表し方を具体的な事象と結び付けながら考える。</li> </ul>	ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>0と0.0の違いは何ですか。 →どこまでが有効数字なのかが違う。</li> </ul>	口頭でのやり取り
				ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>近似値や有効数字について理解できたか教科書の問題で確かめましょう。</li> </ul>	適用問題
4	10	p.224 既習事項の定着を図るとともに、できたこと、つまずいたところを整理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較する資料の総数に着目する。</li> <li>代表値に着目する。</li> <li>2つの資料の特徴を、相対度数を基に考える。</li> <li>どの代表値を用いるかなど、根拠を明らかにして論理的に考える。</li> </ul>	ア	<p>【導入での言葉掛け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の分析と活用の振り返りです。これまで学習してきたことが身に付いたか問題で確かめましょう。</li> </ul>	適用問題
				ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>この単元で学んだことは、生活のどのような場面で活用されているか考えて書きましょう。また、さらに学習してみたいことを書きましょう。 →商品の出荷数を決めるときや、アンケートやテストの集計など。 →1年生のテレビ視聴やゲームの時間など、生活に関わる内容も整理してみたい。</li> </ul>	学習感想

※「本時のねらい」について

現在、宮城県内の市町村立小・中学校では算数・数学科において東京書籍の教科書を採択しており、専門研究員所属校でも算数・

数学科の年間指導計画は東京書籍の「指導計画作成資料」を参考に作成している。本資料「単元指導計画表～振り返り編～」中の「本時のねらい」は、専門研究員所属校の年間指導計画より記載したものである。